

令和5年度四国中央市スポーツ推進審議会 会議録

1. 会議名	令和5年度四国中央市スポーツ推進審議会
2. 日時	令和6年3月12日(火) 19:00~20:00
3. 場所	四国中央市福祉会館4階多目的ホール
4. 出席者	委員：8名 本田穰司、長野正次、岩井正実、石川正広、柳瀬剛、 森實繁仁、進藤文子、近藤和明 教育委員会：1名 教育管理部長 合田 秀人 事務局：3名 文化・スポーツ振興課長 山田 仁美 以下2名
5. 傍聴者	一般：0名 報道関係者：0名
6. 会議の公開	公開

1. 会議次第
(1) 開会
(2) 会長挨拶 四国中央市スポーツ推進審議会 会長 本田 穰司
(3) 議案審議 第1号議案 令和5年度事業報告について 第2号議案 令和6年度事業計画(案)について 第3号議案 令和6年度社会体育補助金等予算について
(4) その他 報告事項1 川之江体育館改修工事について 報告事項2 中学校部活動の地域移行について
(5) 閉会
2. 会議概要
第1号議案 令和5年度事業報告について 事務局より説明、質疑なく承認される
第2号議案 令和6年度事業計画(案)について 事務局より説明、質疑なく承認される
第3号議案 令和6年度社会体育補助金等予算について 事務局より説明、質疑なく承認される

報告事項1 川之江体育館改修工事について

事務局より報告

委員) トイレの改修も行ったようだが本改修工事とは別か?

事務局) 本改修工事とは別に、市として全体的にトイレ洋式化工事を行っている。

委員) 懸案の漏水は収まったようだが、メインアリーナの床の状況が悪い、との声が耳に入っている。また、小中学校体育館への空調設置について市議会で議論されているようだが、川之江体育館への空調設置について、市としてどう考えているか伺いたい。

事務局) メインアリーナの床の傷みについては報告を受けている。

大きな事故になる恐れもあることから早急な対応を検討している。

空調については、川之江体育館改修検討委員会において、熱中症予防の観点からスポットクーラーを導入する方向で話を進めていた。今年度試験的に導入し、一定の効果があつたことから、来年度購入を予定している。しかしながら、避難所の観点からはスポットクーラーでは弱いという意見もあるため、空調についても検討を行っていきたいと考えている。

委員) 川之江体育館は避難所になっているのか?

事務局) 体育館は川之江体育館と伊予三島運動公園体育館が指定避難所になっている。

委員) スポットクーラー電源工事との記載があるが、本体はまだ導入されないのか。

事務局) 昨年度は実証で川之江、三島両体育館に大型冷風機を設置した。

熱中症予防にも一定の効果があつたため、利用者からも継続を希望する声が多くあつたため、来年度は購入を予定している。

委員) スポットクーラーでは効果があまりないと考えるがどうか。

事務局) スポットクーラー自体がエアコンとは異なり空気を冷やすものではないので、部屋自体は冷えないのが実情ではある。

委員) 先ほども話に出たが、先週川之江体育館である種目(ミニバス)の大会があり、床の改修について意見があつた。早急な対応をお願いしたい。

報告事項2 中学校部活動の地域移行について

事務局より報告

委員) 令和7年度に実践研究を行うとあるが、どういうものか?

事務局) 全部活動を一気に地域移行するのは困難なため、検討委員会で方向性を定めながら、まずは〇〇中学校の〇〇部を地域移行する形で、令和7年度から進めていくことになる。

委員) 試験期間という認識でよいか?

事務局) はい。

委員) 第1回検討委員会の協議内容を教えていただきたい。

事務局) 第1回では、国や県の動向や四国中央市の部活動の状況や今後行っていくアン

ケート、過去に行った教職員アンケートの結果について協議した。

今後も継続的に検討委員会を開催し、市としての方針を定めることになる。

委員) 国の方針では令和7年度に地域移行を完了する、となっていたと思うが？

事務局) 当初はそのとおりであったが、国が方針転換し令和7年度までに地域移行の取組みをスタートする、となった。

委員) こどもたちにとっては1年1年が非常に大事であるため、地域移行を先延ばしにせず、方向性を早めに定めることが重要。

また、健全な成長のためには指導者の資質も大事になる。

土日に各クラブにお願いすることになっていくが、クラブや指導者によって考え方や指導が違うため、一定の条件を設けるなどの対策が必要になると考える。

事務局) 先進地の話では、平日は学校の顧問、休日はクラブの指導者となるなかで、指導の方向性の調整が必要との意見もあった。

委員) 今後は部活動が完全に学校から離れ、塾に行くのと同じ感覚でスポーツクラブに通うようになっていくのではないかと思うが、当面は学校教育のサポートが必要になると考える。

委員) 四国中央市が地域移行を行ううえで、モデルとなる市や方法を見つけることが重要と考える。

都会では予算規模が大きく、業者等に委託して専門的な指導を行っているところもあるが、地方では現実的に困難。

委員) 様々な成功例や失敗例もあると思うので、時間を無駄にしないようにするために、直接話を聞く機会を設けてはどうか。

委員) 県スポーツ少年団の会でも地域移行の話があった。

スポーツ少年団は地域の活動であるため、今後小学校だけでなく中学校とも協力しながら何かできればと思う。

また、小・中学校や高校などが連携できるような体系を作らないと、地域移行がスムーズに進まないのではないか。

委員) できるところから、という表現があるが、ある程度の時期は定めておかないとはいけないと考える。

事務局) 本市としては、令和7年度に実証事業を行う計画を立てている。

学校教育課とも連携しながら事務局案を作成し、検討委員会に早めに諮っていきたいと考えている。

委員) 検討委員会の回数を多く行って、委員間でも知恵を出しながら進めていかないといけない。

事務局) 部活動地域移行については、検討委員会での意見を踏まえつつ、こどもの環境を大切にするという視点を忘れずに進めていきたい。

その他全般も上記以外は特になく、閉会する